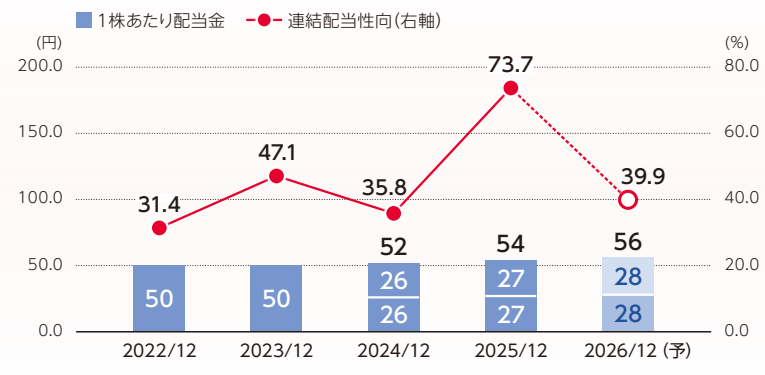


## 株主の皆様への利益還元について

株主還元につきまして、今後の事業成長に必要な研究開発投資、生産体制強化、新事業開拓等の必要な内部留保資金を確保しつつ、連結配当性向30%以上を前提とする安定配当と機動的、戦略的な自己株式取得を想定しております。当期の1株あたり配当金は、中間27円、期末27円、合計54円とさせていただきます。また、次期については、2円増配の1株あたり56円を予定しております。



## 株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで  
 定時株主総会 3月中  
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行  
 特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行  
 同事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行証券代行部  
 公告方法 電子公告により行います。  
 ただし電子公告によることができない事故その他やむを得ない場合は、日本経済新聞に掲載します。  
 なお、電子公告は弊社ホームページに記載しており、そのアドレスは以下の通りです。  
<https://www.optorun.co.jp/>

## ホームページのご案内

◀ トップページ  
<https://www.optorun.co.jp/>

IR情報ページ▶  
<https://www.optorun.co.jp/ir/>



第27期  
**株主通信** 2025年 1月 1日から  
 2025年12月31日まで  
 人々の想いを光でつなぐ



株式会社オプトラ  
 [本社]  
 埼玉県鶴ヶ島市富士見6-1-1  
 TEL: 049-299-8199  
 FAX: 049-299-8329



株式会社オプトラ

証券コード：6235



## 新たな事業領域の受注拡大を目指す

代表取締役社長執行役員  
範 賓

となりました。

その結果、売上高は33,861百万円(前年同期比4.5%増)、営業利益は3,334百万円(同49.2%減)、経常利益は3,202百万円(同60.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は2,959百万円(同53.4%減)となりました。

### 2026年12月期業績予想修正について

当社グループ事業に関連する最終製品市場の技術革新は著しく、成膜需要拡大が期待されます。

スマートフォンは、AIサーバー向け需要増によるメモリ不足や部材価格高騰により、出荷台数は前年比で減少が予測されるものの、AI搭載モデルや折りたたみ型モデルの普及、さらなるカメラ機能高度化といったハイエンドモデルを中心に需要拡大を見込んでおります。

自動車は、自動運転技術の進展により、センシング機能の進化、表示機能のタッチパネル化による利便性向上、ヘッドアップディスプレイによる運転を妨げることなく、交通情報の視認性向上等、成膜需要は拡大が続くものと見込んでおります。

光通信は、生成AI・データセンター関連市場が急拡大しております。生成AI需要により、さらなる伝送速度の向上や消費電力低減が求められており、その解決策として半導体チップ間・データセンター間の光接続が不可欠です。光電融合技

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第27期株主通信をお届けいたします。

### 2025年12月期業績について

2025年1月1日から2025年12月31日までの期間における世界経済は、総じて底堅く推移いたしました。米国の関税政策の変化による世界経済の減速懸念、中国経済の減速、地政学リスクの高まりもあり、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の下、売上高は、光学領域の自動車向けディスプレイ・カメラ、光通信をはじめとした光学部品向け装置や、半導体光学の光電子向け装置が好調であったことにより、前年同期比で増収となりました。

営業利益は、利益率の高いALD装置販売の減少や棚卸資産評価損等計上により、前年同期比で減益となりました。

経常利益は、利息収入や補助金収入の計上があったものの、円高による為替差損の計上により、前年同期比で減益

術進展や膨大な生成AIデータ処理により、光通信関連市場は高成長が続くものと見込んでおります。

これらの状況をふまえ、2026年12月期の連結業績見通しにつきましては、売上高38,200百万円(前年同期比12.8%増)、営業利益6,200百万円(同85.9%増)、経常利益7,400百万円(同131.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益5,600百万円(同89.2%増)を見込んでおります。

### 中期経営目標について

光学から半導体光学融合、電子デバイスへの市場拡大を見据え、今後は半導体光学融合及び電子デバイスを光学に次ぐ事業成長の柱として位置付けています。

電気信号を光信号に置き換えることで、「高速・省エネ・大容量化」を実現する技術である光電融合技術が、次世代技術として飛躍的に拡大していくと想定しております。

中期経営目標として、ROE(自己資本利益率)10%以上、連結配当性向30%以上を目指し、収益拡大と高効率経営を実現するとともに、継続的・安定的な株主還元を実施いたします。また、2030年に向け、光電融合に関連するシリコンフォトニクス売上高構成比20%以上を目指します。

これらの取り組みを通じ、株主の皆さまのご期待に応えるべく、中長期的な利益の拡大と持続的な企業価値の向上に努めてまいります。引き続き、株主の皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Topic

### ESG投資指数[FTSE JPX Blossom Japan Index]及び[FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index]構成銘柄への初選定



**FTSE JPX Blossom Japan Index**

2025年6月に当社は、ESG(環境・社会・ガバナンス)に積極的に取り組んでいる日本企業を対象とした株価指数、[FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index]に初めて選定されました。さらに、2026年1月に、[FTSE JPX Blossom Japan Index]にも、初めて選定されました。当社は、創業以来「薄膜技術の限界にチャレンジすることを通じ、高度情報社会への貢献を実現する」ことを目指し、人々がより豊かに暮らせる社会の実現に貢献すべく事業を展開しております。社会の一員として多くの方々から信頼される企業でありつづけるため、ESGの観点での取組みを事業運営に反映させてまいりました。今後も、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、さらなる企業価値向上を目指してまいります。

FTSEとは?

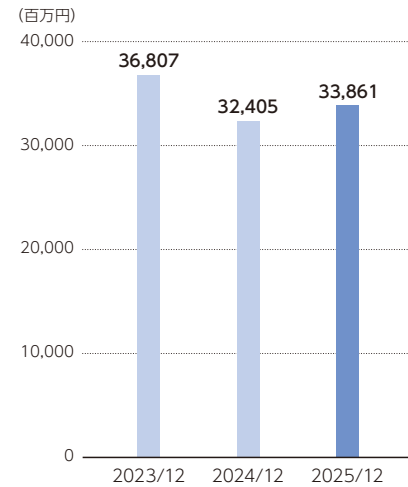
グローバルインデックスプロバイダーであるFTSE Russell 社により構築された[FTSE JPX Blossom Japan Index]及び[FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index]は、環境、社会、ガバナンス(ESG)の対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映するインデックスです。同インデックスは、ESG投資を積極的に推進している年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)によるパッシブ運用のESGインデックスとしても採用されています。



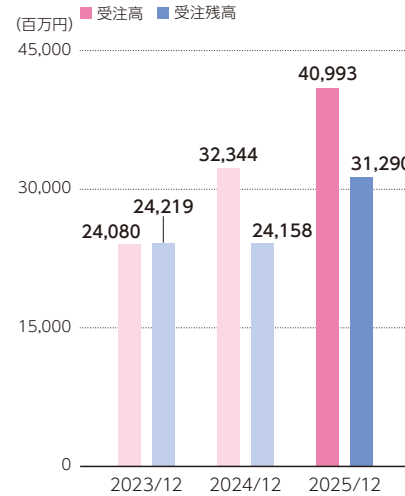
**FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index**

※2025年12月22日付で、指数名がFTSE Blossom Japan IndexからFTSE JPX Blossom Japan Indexに、FTSE Blossom Japan Sector Relative IndexからFTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Indexに改称されました。

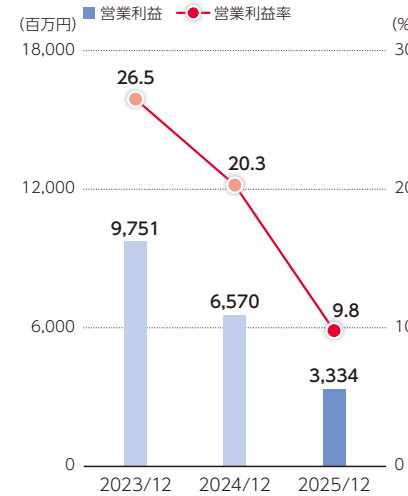
売上高



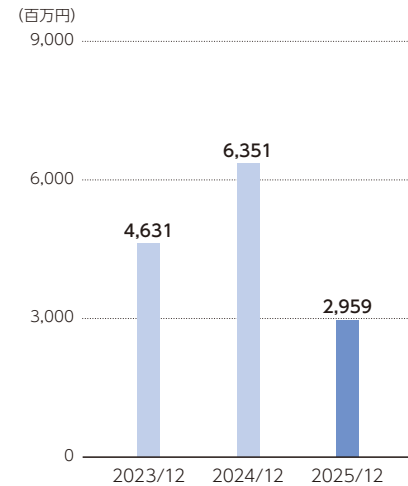
受注高／受注残高



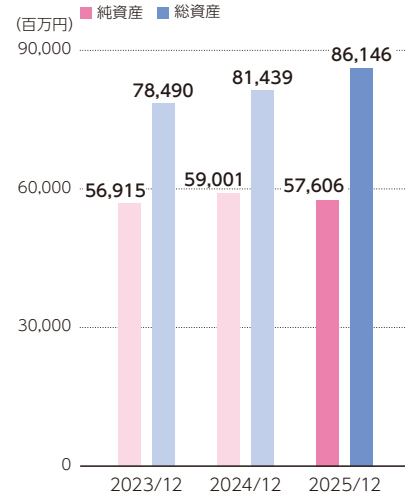
営業利益／営業利益率



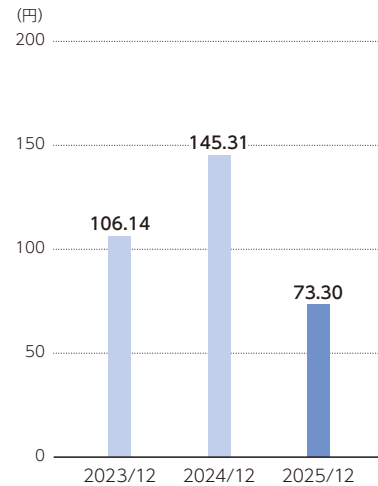
親会社株主に帰属する当期純利益



純資産／総資産



1株当たり当期純利益



貸借対照表 (百万円)

	2024/12	2025/12
<b>資産の部</b>		
流動資産	54,571	56,775
固定資産	26,868	29,370
有形固定資産	14,152	13,512
無形固定資産	210	34
投資その他の資産	12,505	15,824
資産合計	81,439	86,146
<b>負債の部</b>		
流動負債	14,766	19,881
固定負債	7,671	8,658
負債合計	22,437	28,539
<b>純資産の部</b>		
株主資本	49,980	46,276
資本金	400	400
資本剰余金	9,477	8,995
利益剰余金	44,437	44,449
自己株式	△4,335	△7,567
その他の包括利益累計額	8,708	11,104
非支配株主持分	312	225
純資産合計	59,001	57,606
負債純資産合計	81,439	86,146

損益計算書 (百万円)

	2024/12	2025/12
売上高	32,405	33,861
売上原価	17,907	22,420
売上総利益	14,498	11,440
販売費及び一般管理費	7,928	8,105
営業利益	6,570	3,334
営業外収益	1,996	584
営業外費用	376	716
経常利益	8,190	3,202
特別利益	—	1,025
特別損失	5	7
税金等調整前当期純利益	8,184	4,220
法人税、住民税及び事業税	925	853
法人税等調整額	881	522
当期純利益	6,377	2,845
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	26	△114
親会社株主に帰属する当期純利益	6,351	2,959

キャッシュ・フロー計算書 (百万円)

	2024/12	2025/12
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,049	8,528
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,700	256
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,806	△6,258
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,516	873
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,940	3,401
現金及び現金同等物の期首残高	32,976	28,035
現金及び現金同等物の期末残高	28,035	31,436

(2025年12月31日現在)

(2025年12月31日現在)

株式の状況

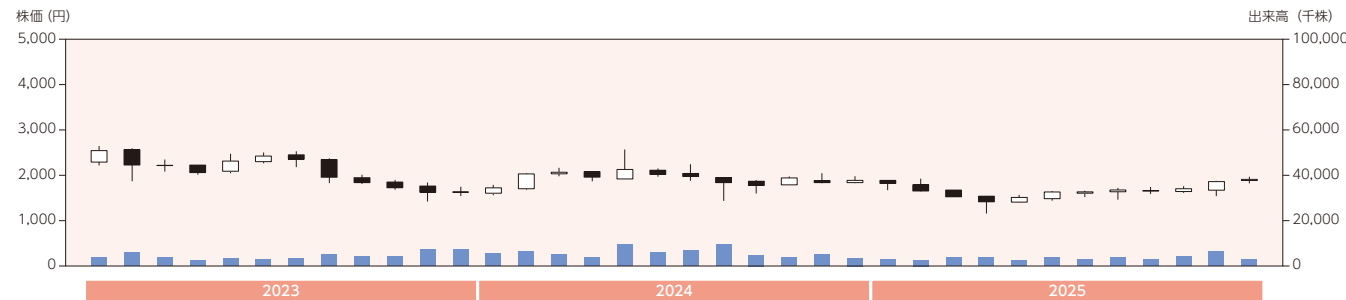
発行可能株式総数 ..... 177,432,000株  
 発行済株式総数 ..... 44,358,000株  
 株主数 ..... 6,885名

大株主

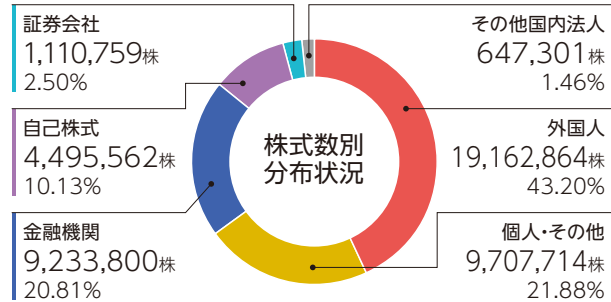
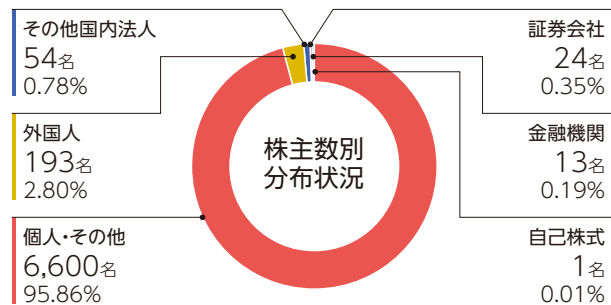
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
浙江水晶光电科技股份有限公司	6,507	16.33
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,472	13.73
孫 大雄	2,481	6.22
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,369	5.94
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	1,687	4.23
林 為平	1,007	2.53
井村 俊哉	838	2.10
野村信託銀行株式会社(投信口)	786	1.97
GOVERNMENT OF NORWAY	740	1.86
範 賢	708	1.78

(注) 1. 当社は、自己株式を4,495千株保有しております。  
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株価・出来高の推移(月足)



株式分布状況



会社概要

会社名 株式会社 オプトラン (OPTORUN Co.,Ltd.)  
 住所 [本社] 埼玉県鶴ヶ島市富士見6-1-1  
 設立 1999年8月25日  
 資本金 400百万円  
 事業内容 光学薄膜装置等の製造販売

マネジメント体制(2026年3月26日現在)

<b>取締役</b>			<b>執行役員</b>		
取締役会長	林 為平		社長執行役員	範 賢	寶
代表取締役	範 賢		専務執行役員	奚 建政	
社外取締役	林 敏		常務執行役員	久保 昌司	
社外取締役	瀧口 匡		常務執行役員	石野 雅彦	
社外取締役	島岡未来子		執行役員	西村 正大	
<b>監査役</b>			執行役員	李 剛正	
監査役	淡路 正史		執行役員	栄 雷	
社外監査役	佐々田博信		執行役員	黄 志飛	
社外監査役	片山 律				

主なグループ会社

